

①軒先



②ケラバ

⑤谷

③模

⑥壁捨て谷

⑧頂部

⑨システム排煙棟

①軒先 断熱バックアップ材: ビーズ法ポリスチレンフォーム $\varnothing 40$ マッターラーフ7型: フッ素ガルバリウム鋼板 $\varnothing 0.45$ (ポリエチレンフォーム $\varnothing 4.0$ 裏貼) キャップ: 屋根同材 (ポリエチレンフォーム $\varnothing 8.0$ 裏貼) 吊子: アルミ押出型材 (アルマイト処理) 軒先水切: 屋根同材 ドレンガイド: カラーガルバリウム鋼板 $\varnothing 0.4$ 下葺材 軒先カバー: 屋根同材加工 軒先伸縮フレーム: 亜鉛メッキ鋼板 $\varnothing 1.0$ 軒先水切: 屋根同材加工 元且ボード: 継木 太木二層式化粧木毛セメント板 $\varnothing 40$ 150	②ケラバ ドレンガイド: カラーガルバリウム鋼板 $\varnothing 0.4$ ケラバフレーム: 亜鉛メッキ鋼板 $\varnothing 1.0$ ケラバカバー: 屋根同材加工 ケラバ水切: 屋根同材加工 キャップ: 屋根同材 (ポリエチレンフォーム $\varnothing 8.0$ 裏貼) 吊子: アルミ押出型材 (アルマイト処理) 断熱バックアップ材: ビーズ法ポリスチレンフォーム $\varnothing 40$ マッターラーフ7型: フッ素ガルバリウム鋼板 $\varnothing 0.45$ (ポリエチレンフォーム $\varnothing 4.0$ 裏貼) ドレンガイド: カラーガルバリウム鋼板 $\varnothing 0.4$ 下葺材 元且ボード: 継木 太木二層式化粧木毛セメント板 $\varnothing 40$	③棟 立チ上げ加工 棟包ミ: 屋根同材加工 下地材: 亜鉛メッキ鋼板 $\varnothing 1.0$ ハゼ内シーリング充填 (端部カラ100mm程度) 吊子: アルミ押出型材 (アルマイト処理) 断熱バックアップ材: ビーズ法ポリスチレンフォーム $\varnothing 40$ キャップ: 屋根同材 (ポリエチレンフォーム $\varnothing 8.0$ 裏貼) マッターラーフ7型: フッ素ガルバリウム鋼板 $\varnothing 0.45$ (ポリエチレンフォーム $\varnothing 4.0$ 裏貼) ドレンガイド: カラーガルバリウム鋼板 $\varnothing 0.4$ 下葺材 元且ボード: 継木 太木二層式化粧木毛セメント板 $\varnothing 40$
④下り棟 立チ上げ加工 下り棟包ミ: 屋根同材加工 マッターラーフ7型: フッ素ガルバリウム鋼板 $\varnothing 0.45$ (ポリエチレンフォーム $\varnothing 4.0$ 裏貼) ドレンガイド: カラーガルバリウム鋼板 $\varnothing 0.4$ 下葺材 元且ボード: 継木 太木二層式化粧木毛セメント板 $\varnothing 40$ ハゼ内シーリング充填 (端部カラ100mm程度) 吊子: アルミ押出型材 (アルマイト処理) 断熱バックアップ材: ビーズ法ポリスチレンフォーム $\varnothing 40$ キャップ: 屋根同材 (ポリエチレンフォーム $\varnothing 8.0$ 裏貼) 木毛板受: 亜鉛メッキ鋼板 $\varnothing 1.0$	⑤谷 谷フレーム: ステンレス $\varnothing 1.0$ マッターラーフ7型: フッ素ガルバリウム鋼板 $\varnothing 0.45$ (ポリエチレンフォーム $\varnothing 4.0$ 裏貼) ドレンガイド: カラーガルバリウム鋼板 $\varnothing 0.4$ 谷用吊子: カラスステンレス $\varnothing 0.4$ 谷槽板: カラスステンレス $\varnothing 0.4$ 下葺材 元且ボード: 継木 太木二層式化粧木毛セメント板 $\varnothing 40$ 木毛板受: 亜鉛メッキ鋼板 $\varnothing 1.0$ キャップ: 屋根同材 (ポリエチレンフォーム $\varnothing 8.0$ 裏貼) 断熱バックアップ材: ビーズ法ポリスチレンフォーム $\varnothing 40$	⑥壁捨て谷 雨押エ: 屋根同材加工 下地材: 亜鉛メッキ鋼板 $\varnothing 1.0$ 断熱バックアップ材: ビーズ法ポリスチレンフォーム $\varnothing 40$ マッターラーフ7型: フッ素ガルバリウム鋼板 $\varnothing 0.45$ (ポリエチレンフォーム $\varnothing 4.0$ 裏貼) キャップ: 屋根同材 (ポリエチレンフォーム $\varnothing 8.0$ 裏貼) 吊子: アルミ押出型材 (アルマイト処理) ドレンガイド: カラーガルバリウム鋼板 $\varnothing 0.4$ 下葺材 元且ボード: 継木 太木二層式化粧木毛セメント板 $\varnothing 40$
⑦壁立上り 雨押エ: 屋根同材加工 下地材: 亜鉛メッキ鋼板 $\varnothing 1.0$ 立チ上げ加工 ハゼ内シーリング充填 (端部カラ100mm程度) 吊子: アルミ押出型材 (アルマイト処理) 断熱バックアップ材: ビーズ法ポリスチレンフォーム $\varnothing 40$ キャップ: 屋根同材 (ポリエチレンフォーム $\varnothing 8.0$ 裏貼) マッターラーフ7型: フッ素ガルバリウム鋼板 $\varnothing 0.45$ (ポリエチレンフォーム $\varnothing 4.0$ 裏貼) ドレンガイド: カラーガルバリウム鋼板 $\varnothing 0.4$ 下葺材 元且ボード: 継木 太木二層式化粧木毛セメント板 $\varnothing 40$ 木毛板受: 亜鉛メッキ鋼板 $\varnothing 1.0$	⑧頂部 棟包ミ: 屋根同材加工 下地材: 亜鉛メッキ鋼板 $\varnothing 1.0$ 立チ上げ加工 ハゼ内シーリング充填 (端部カラ100mm程度) 吊子: アルミ押出型材 (アルマイト処理) 断熱バックアップ材: ビーズ法ポリスチレンフォーム $\varnothing 40$ マッターラーフ7型: フッ素ガルバリウム鋼板 $\varnothing 0.45$ (ポリエチレンフォーム $\varnothing 4.0$ 裏貼) ドレンガイド: カラーガルバリウム鋼板 $\varnothing 0.4$ キャップ: 屋根同材 (ポリエチレンフォーム $\varnothing 8.0$ 裏貼) 下葺材 元且ボード: 継木 太木二層式化粧木毛セメント板 $\varnothing 40$	⑨システム排煙棟 システム排煙棟 棟包ミ: カラスステンレス $\varnothing 0.4$ システム排煙棟 金具B: 亜鉛メッキ鋼板 $\varnothing 3.0$ システム排煙棟 金具A: 亜鉛メッキ鋼板 $\varnothing 3.0$ システム排煙棟 ルーバーパネル 立チ上げ加工 棟包ミ: 屋根同材加工 ハゼ内シーリング充填 (端部カラ100mm程度) 下地材: 亜鉛メッキ鋼板 $\varnothing 1.0$ 断熱バックアップ材: ビーズ法ポリスチレンフォーム $\varnothing 40$ システム排煙棟 水切: カラスステンレス $\varnothing 0.4$ 吊子: アルミ押出型材 (アルマイト処理) 木毛板受: 亜鉛メッキ鋼板 $\varnothing 1.0$ 下葺材 元且ボード: 継木 太木二層式化粧木毛セメント板 $\varnothing 40$

①軒先

227以下

④455

断熱バックアップ材: ビーズ法ポリスチレンフォーム t=40

キャップ: 量販材 (ポリエチレンフォーム t=8.0 裏貼)

吊子: アルミ押出型材(アルマイト処理)

マックスラーフ7型: フッ素ガルバリウム鋼板 t=0.45 (ポリエチレンフォーム t=8.0 裏貼)

20

下置材

均シモルタル

シーリング

ケラバカバー: 量販材加工

ケラバ水切: 量販材加工

ケラバフレーム: 量販メッキ鋼板 t=1.0

ドレンガイド: カラーガルバリウム鋼板 t=0.4

③棟

Technical cross-section diagram of a roof structure (③棟). The diagram shows the following components and labels:

- Labels:**
 - 棟包ミ: 屋根葺材加工 (Roof ridge wrapping: Roofing material processing)
 - 立チ上げ加工 (Standing up processing)
 - 下地材: 亜鉛メッキ鋼板 (≒1.0) (Base material: Galvanized steel plate (≈1.0))
 - 吊子: アルミ押出型材(アルマイト処理) (Hanger: Aluminum extruded profile (Aluminized treatment))
 - 断熱バックアップ材: ビーズ法ポリスチレンフォーム (≒40) (Insulation back-up material: Bead method polystyrene foam (≈40))
 - キヤップ: 屋根材 (ポリエチレンフォーム (≒0.0 直貼)) (Cap: Roofing material (Polyethylene foam (≈0.0 direct adhesion)))
 - マツタラーーフ型: フッ素ガルバリウム鋼板 (≒0.45) (ポリエチレンフォーム (≒4.0 直貼)) (Matsutara roof type: Fluoropolymer galvanized steel plate (≈0.45) (Polyethylene foam (≈4.0 direct adhesion)))
 - ハゼ内シーリング充填(端部から100mm程度) (Sealing filler inside the eave (from the end about 100mm))
 - ドレンガイド: カラーガルバリウム鋼板 (≒0.4) (Drain guide: Color galvanized steel plate (≈0.4))
 - 下葺材 (Underlayment)
 - 均シモルタル (≒60) (Leveling mortar (≈60))
- Dimensions and Slopes:**
 - Slope 10 (indicated by a triangle with 10 and 2.5)
 - Slope 10 2.5 (indicated by a triangle with 10 and 2.5)

④下り棟

下り棟包ミ: 屋根用材加工

立上ゲ加工

下地材: 亜鉛メッキ鋼板 t=1.0

吊子: アルミ押出型材 (アルマイト処理)

断熱バックアップ材:
ビーズ法ポリスチレンフォーム t=40

キャップ: 屋根用材
(ポリエチレンフォーム t=8.0 裏貼)

カラーガルバリウム鋼板 t=0.45
(ポリエチレンフォーム t=4.0 裏貼)

カラーガルバリウム鋼板 t=0.4

下拵材

均シモルタル

⑤谷

谷フレーム: ステンレス t=1.0

マツタラーーフ7型:
フッ素ガルバリウム鋼板 t=0.45
(ポリエチレンフォーム t=4.0 裏貼)

ドレンガイド: カラーガルバリウム鋼板 t=0.4

谷用吊子: カラーステンレス t=0.4

谷措板: カラーステンレス t=0.4

下葺材

均シモルタル

キャップ: 屋根同材 (ポリエチレンフォーム t=8.0 裏貼)

断熱バックアップ材:
ビーズ法ポリスチレンフォーム t=40

240

240

⑥壁捨て谷

The diagram illustrates a cross-section of a wall ditch. The main wall section has a width of @455 and a height of (割リ付ケニヨル). The ditch at the base has a depth of (70以上) and a width of (本機に合致する寸法とする). The construction details include:

- 雨押工・屋根間材加工 (Rain push work / Roof interlayer processing)
- 下地材：亜鉛メッキ鋼板 (Basis material: Galvanized steel plate) with a thickness of @1.0.
- 断熱バックアップ材：ビーズ法ポリスチレンフォーム (Insulation backup material: Bead method polystyrene foam) with a thickness of @40.
- マットラールーフ型：フッ素ガルバリウム鋼板 (Mattaral roof type: Fluoropolymer galvalume steel plate) with a thickness of @0.45.
- (ポリエチレンフォーム @4.0 裏貼) (Polyethylene foam @4.0 backsheet).
- キャップ：屋根間材 (ポリエチレンフォーム @8.0 裏貼) (Cap: Roof interlayer (polyethylene foam @8.0 backsheet)).
- 吊子：アルミ押出型材 (アルマイト処理) (Hanger: Aluminum extruded profile (anodized)).
- ドレンガイド：カラーガルバリウム鋼板 (Drain guide: Color galvalume steel plate) with a thickness of @0.4.
- 下葺材 (Underlayment).
- 均シモルタル (Leveling mortar).

⑦壁立上り

10
2.5

シーリング
雨押工：壁板同材加工
下地材：重松メッキ鋼板 $\varphi 1.0$
立ち上げ加工
ハゼ内シーリング充填(端部カワ100mm程度)
吊子：アルミ押出型材(アルマイト処理)
断熱バックアップ材：ビーズ法ポリスチレンフォーム $\varphi 40$
キャップ：壁板同材(ポリエチレンフォーム $\varphi 8.0$ 裏貼)
マッターラーフ型：ファスナーガルバリウム鋼板 $\varphi 0.45$
(ポリエチレンフォーム $\varphi 4.0$ 裏貼)
ドレンガイド：カラーガルバリウム鋼板 $\varphi 0.4$
均シモルタル
下基材

150以上

R607

⑧頂部

棟包ミ: 屋根同材加工

下地材: 亜鉛メッキ鋼板 ≒1.0

立ち上げ加工

ハゼ内シーリング充填(端部から100mm程度)

吊子: アルミ押出型材(アルマイト処理)

断熱バックアップ材: ポーズ流ポリスチレンフォーム ≒40

キャップ: 屋根同材(ポリエチレンフォーム ≒6.0 裏貼)

マッターラーフ?型: フッ素ガルバリウム鋼板 ≒0.45
(ポリエチレンフォーム ≒4.0 裏貼)

ドレンガイド: ガーガルバリウム鋼板 ≒0.4

≒607

下置材

均シモルタル

⑨システム排煙棟

10
2.5

システム排煙棟 横包ミ: カラーステンレス t=0.4

システム排煙棟 金具C: 亜鉛メッキ鋼板 t=2.3

システム排煙棟 金具B: 亜鉛メッキ鋼板 t=3.0

システム排煙棟 金具A: 亜鉛メッキ鋼板 t=3.0

システム排煙棟 ルーバーパネル

立ち上げ加工

横包ミ: 屋根同材加工

下地材: 亜鉛メッキ鋼板 t=1.0

断熱バックアップ材:
ピース法ポリスチレンフォーム t=40

ハゼ内シーリング充填
(指部カラ100mm程度)

システム排煙棟 水切:
カラーステンレス t=0.4

吊子: アルミ押出型材
(アルミ処理)

下座材 t=20mm

通気孔

10
2.5